



ため池改修整備計画策定に向けた活用事例について紹介します。

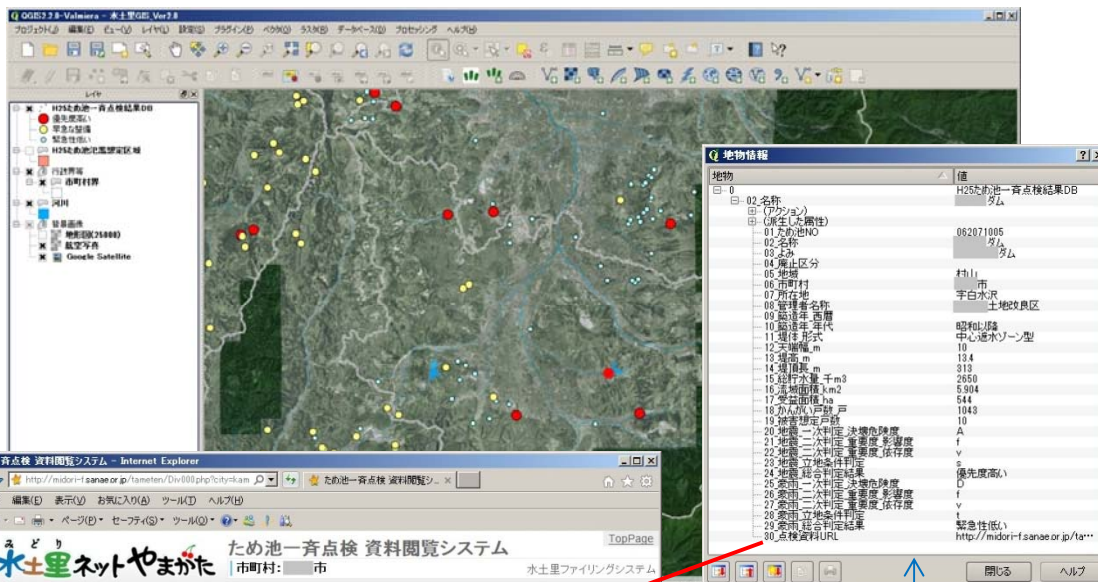
(1/2)

今回紹介する団体： 山形県、水土里ネットやまがた

取組概要

内容： 震災対策農業水利施設整備事業により実施されたため池一斉点検結果・資料および“ため池DBハザードマップ”(農村工学研究所)による簡易氾濫解析結果を水土里情報システムに登録。

- 経緯： ①山形県においてため池一斉点検、簡易氾濫解析を平成24年度より実施。
- ・点検結果および写真等の一元管理が必要。
 - ・県だけではなく関係機関との共有が必要。
 - ・改修整備計画策定に向けた活用方法の検討。
- ②水土里情報データ(航空写真等)と併せた活用を考慮し、GISデータとして整備、水土里情報システムへ平成25年度に登録。

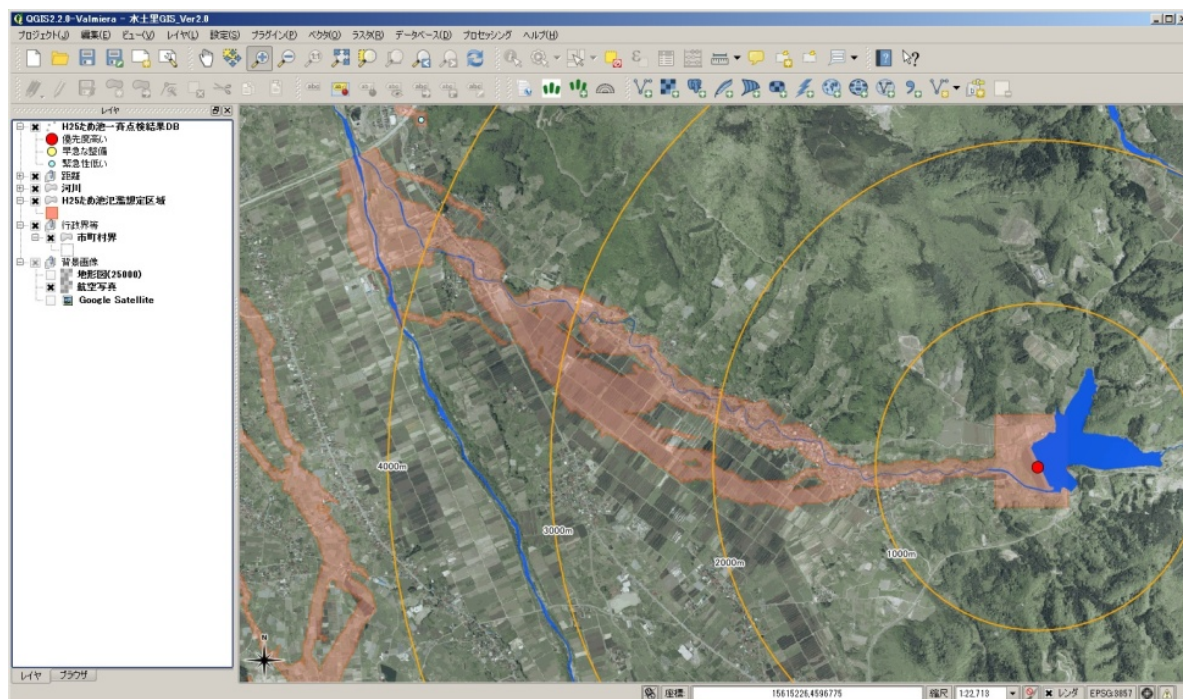


判定結果を属性として入力。
判定ランクによる地図表示が可能。

写真や結果個票PDF等をファイリング。
リンク設定し、地物からの参照が可能。
ブラウザから直接資料を参照することも可能。

期待される効果

- ・情報共有による関係機関間、担当者間での連携。
- ・点検結果による集計、位置確認、現地写真等の確認が容易であり業務効率化が図れる。
- ・氾濫想定区域や水土里情報データを併せて利用することにより、点検結果のみならず多角的な視点からの改修整備優先度の検討に活用可能。



点検により優先度が高い結果となったため池の中でも、氾濫想定区域等を加味することにより、より優先度の高いため池の検討を行うことができる。

今後の活用予定

- ・今年度、小規模なため池の点検が残っており、それらの結果等についても水土里情報システムに登録し共有していく予定。
- ・さらに詳細な検討を行えるよう活断層データ等の登録も検討していく。
- ・地域防災計画(ハザードマップ)作成への活用。

■お問い合わせ先

山形県農林水産部農村整備課

023-630-2512

山形県土地改良事業団体連合会 技術部技術管理課

023-647-5387

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添)

03-6744-2212(直通)